

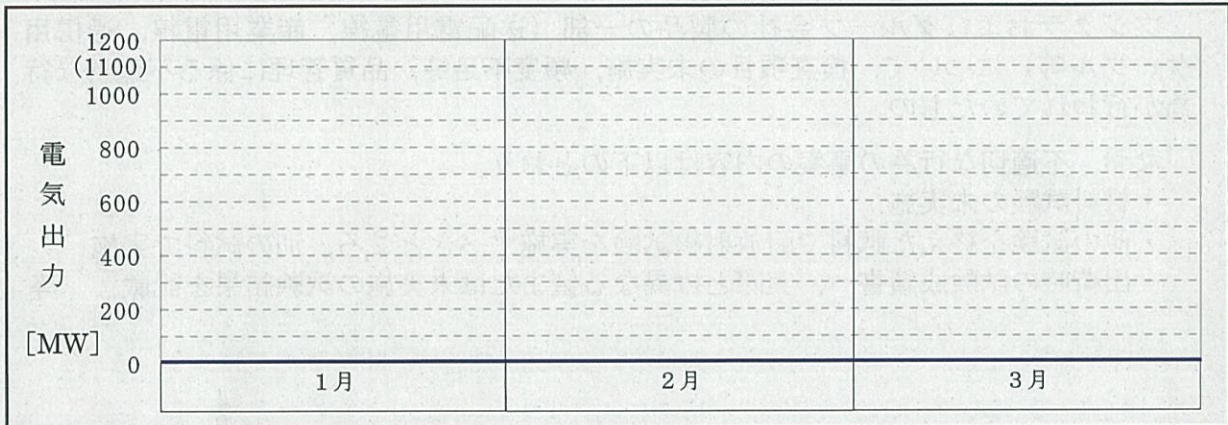
2019年 5月14日
東北電力株式会社

東通原子力発電所の現在の状況について

1. 運転状況

- 平成23年2月6日より第4回定期検査を実施中

2. 電気出力（平成31年1月～平成31年3月）



3. その他

(1) 東通原子力発電所1号機における新規制基準適合性審査の状況について

- 東通原子力発電所1号機については、平成26年6月申請以降、継続的な事務局ヒアリングや審査会合において当社の申請内容を説明してきており、これまでに審査会合は18回開催されております。
- 平成31年3月1日の審査会合においては、これまでの審査会合における指摘事項（地震・津波、地震動等）に対する当社の対応状況や今後の予定について説明しました。
- 現在、当社は、新規制基準適合性に係る審査会合において、一切山東方断層（F-1断層）を代表とした敷地～敷地近傍（敷地を中心とする半径5km程度の範囲）の断層は、「震源として考慮する活断層」に該当しないことを説明しましたが、原子力規制委員会からは、地下深部の地質構造について追加説明を求められております。
- このため、当社は、より説明性を高める観点から調査範囲を拡大し、3月27日から約半年間の予定で、反射法地震探査やボーリング調査による補足の地質調査を開始いたしました。
- また、断層に係る審査と並行して、基準津波に係る審査も対応しており、補足の地質調査による新たなデータを必要としない地震動評価に係る審査などについては、準備が整ったものから順次説明を進めてまいりたいと考えております。

(別紙1) 東通原子力発電所の補足の地質調査の概要について

(2) 株式会社フジクラの不適切な行為に関する当社原子力発電所における調査結果について

- 当社は、株式会社フジクラ（以下、フジクラ）の不適切な行為を踏まえ、当社原子力発電所における不適切な行為が行われた製品の使用状況や設備への影響について調査してまいりました。

- 調査の結果、不適切な行為が行われた製品が使用されていることを確認しましたが、いずれの製品も性能・品質に問題がなく安全性に影響はないことを確認いたしました。

(別紙2) フジクラの不適切行為に係る東通原子力発電所の調査結果について

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.tohoku-epco.co.jp>)

【参考】フジクラの不適切な行為の概要

フジクラおよびグループ会社の製品の一部（送配電用電線、産業用電線、通信用ケーブル等）について、検査項目の未実施、頻度不足等、品質管理に係る不適切な行為が行われていたもの。

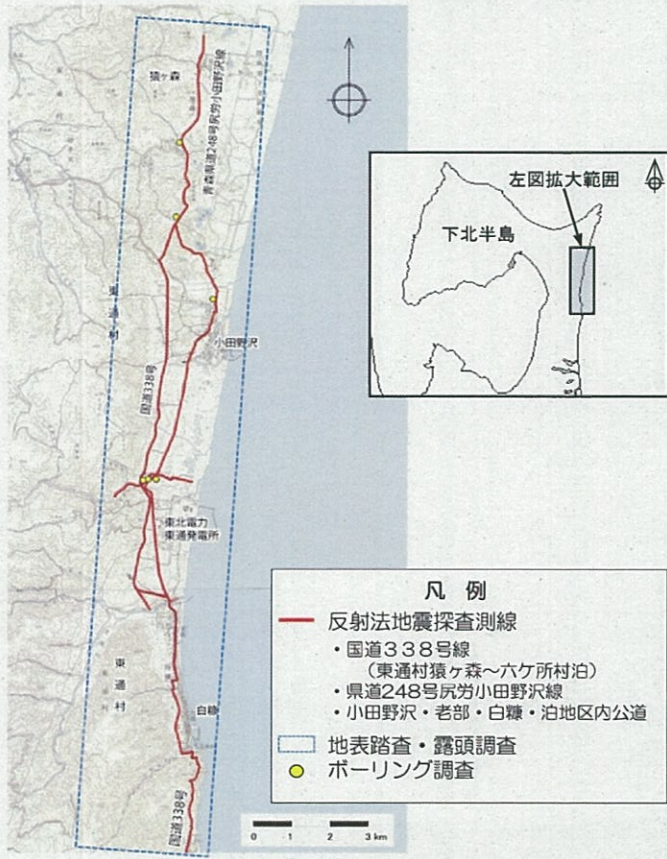
なお、不適切な行為の事案の内容は以下のとおり。

- 材料試験の未実施
- 他の試験を終えた試料で耐放射線試験を実施すべきところ、別の試料で実施
- 出荷時の試験成績書へ、実際とは異なる値または未実施の試験結果を記載 等

東通原子力発電所の補足の地質調査の概要について

➤ 発電所の敷地～敷地周辺の「震源として考慮する活断層」に関する審査において、当社は、一切山東方断層（F-1断層）を代表とした敷地～敷地近傍の断層は「震源として考慮する活断層」に該当しないことを説明しておりますが、断層の活動性評価に関する説明性向上を目的に、平成31年3月27日より補足調査を行っております。

➤ 具体的には、東通村猿ヶ森地区から六ヶ所村泊地区内において、地下の地質分布、断層等を調べる「反射法地震探査」・「ボーリング調査」、地表の地質状況を確認する「地表踏査・露頭調査」を実施しています。



《調査内容》

調査項目	調査目的	調査規模
① 反射法地震探査	地下深部の地層・基盤の分布等の地質構造を確認する。	総延長：約40km
① 地表踏査・露頭調査	反射法地震探査測線沿いの地表地質状況を確認する。	反射法地震探査測線およびその周辺の範囲
② 地質確認ボーリング	敷地北方における地質分布、地層・岩相の物性等を確認する。	3箇所
③ 一切山東方断層確認ボーリング	一切山東方断層の傾斜等の傾向を確認する。	3箇所

《調査工程》

調査項目	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
調査準備	■						
反射法地震探査		■	■	■	■	■	■
地表踏査・露頭調査		■	■	■	■	■	■
ボーリング調査		■	■	■	■	■	■

フジクラの不適切行為に係る東通原子力発電所の調査結果について

不適切な行為が行われた製品の主な使用状況は、以下のとおりです。

発電所	不適切な行為が行われた製品	用途
東通	難燃電力ケーブル 難燃制御・計装ケーブル	発電所内の各種電源からモーターやポンプなどへの送電用ケーブルおよび発電所内の各種制御装置等から各種設備・機器へ電気信号を送るための伝送用ケーブルとして使用
	光ケーブル	発電所内の各種測定データを伝送するための光通信ケーブルとして使用
	コントロール銅管の被覆	発電所内の各機器を制御するための空気作動弁などへ圧縮した空気を送るための銅管の被覆として使用

これらの製品については、フジクラにおけるこれまでの製造実績や検査記録、当社による性能確認などにより、性能・品質に問題ないことを確認できていることから、当社原子力発電所の安全性に影響はありません。